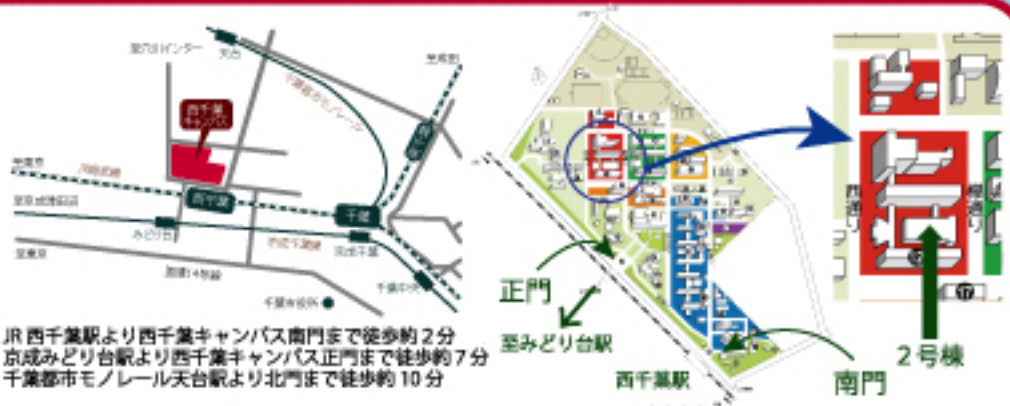


頻発するさまざまな自然災害から  
地域の歴史文化資料を  
いかに守り、救済し、継承してゆくか？

# 地域の 歴史文化資料の 救済と連携

2018  
**12/22** 土  
千葉大学教育学部  
2号棟



- ・JR西千葉駅より西千葉キャンパス南門まで徒歩約2分
- ・京成みどり台駅より西千葉キャンパス正門まで徒歩約7分
- ・千葉都市モノレール天台駅より北門まで徒歩約10分

主催 国立歴史民俗博物館  
National Museum of Japanese History

共催 千葉大学  
CHIBA UNIVERSITY

総合資料学の創成  
khirin  
千葉県立中央博物館

千葉歴史・自然資料  
救済ネットワーク

事前のお申込みは不要です。  
お問い合わせ：国立歴史民俗博物館  
メタ資料学研究センター  
TEL: 03-5777-8600 mail: meta-shiryoe@rekihaku.ac.jp

# Program

## 第1部 ワークショップ 10:00～11:50

2205 教室

### 災害への備えと歴史文化資料の救済を考える

水損した紙資料・写真の救済方法の実演と体験・

ディスカッションをおこないます。

実演 山内利秋 (九州保健福祉大学)

天野真志 (国立歴史民俗博物館)

## 第2部 シンポジウム 14:00～17:00

2207 教室

### 地域の歴史文化資料の救済と連携

千葉県や他地域の実際の取り組みから、地域の歴史文化資料継承のための連携について議論します。

14:00-14:10 開会・問題提起

久留島浩 (国立歴史民俗博物館)

14:10-14:40 報告1

「千葉大学・千葉資料救済ネットの取り組みと現状」

小関悠一郎 (千葉大学)

14:40-15:10 報告2

「資料保全と地域間連携の多様性」

山内利秋 (九州保健福祉大学)

15:10-15:40 報告3

「神奈川県における地域資料保全のありかたについて」(仮)

多和田雅保 (横浜国立大学)

15:40-15:55 休憩

15:55-16:15 コメント

16:15-17:00 パネルディスカッション

16:55-17:00 閉会

さまざまな自然災害が多発するなか、地域に伝来する歴史文化資料の災害対策は急務です。災害から歴史文化資料を守るために、地域の歴史文化資料が置かれている状況を把握し、非常時に備えた保存・管理体制を中心とした防災対策を行うこと、そして資料が被災したときの救済対策をはじめとする、あらゆる専門知を活用した対策が求められています。

国立歴史民俗博物館は、千葉大学と連携し、千葉県内の歴史文化資料の災害対策に取り組んでいます。大学や博物館、そして地域社会と密接に連携することで、多様な歴史文化資料の保存と継承を目指しています。

本シンポジウムでは「災害に備えた歴史文化資料の救済と保存・継承」をテーマに、資料の救済技術を共有し、とくに千葉県での取り組みを通して、地域の歴史文化資料を継承するための連携について、議論を進めます。また、第1部では水損資料救済に関わるワークショップを実施し、実際の保存実務に関する知見を広く共有したいと考えています。

